

今号のトピックス ■新登録団体からの寄稿「子どもたちが健やかに育っていく未来を創るために」  
■認定インストラクター紹介 『健康被害について知りたい』という要望に応えて」

今回は、新たに団体登録されたネット・ゲーム依存予防回復支援 MIRA-i(ミライ)の森山沙耶さんと、新インストラクターの甲斐美保さん(NPO 法人 ネットポリス鹿児島)に、寄稿いただきました。コロナ禍での子どもの生活の急変により『健康被害について』の関心の高まりが窺われます。



## 「子どもたちが健やかに育っていく未来を創るために」

ネット・ゲーム依存予防回復支援 MIRA-i(ミライ)  
森山沙耶さん

### ◇ネット・ゲーム依存予防回復支援 MIRA-iについて

MIRA-iは株式会社 KENZAN の事業として、2019年10月から支援を開始しました。支援事業立ち上げ当時は、eスポーツが盛り上がる一方、ネット依存も社会問題として認知されるようになっていました。私自身は二人の子育ての真っ最中で、今後ネットやデジタルの活用が進む中で、子どもたちが健やかに育っていく未来をどうしたら創ることが出来るのか、臨床心理士としての知識や経験を生かして何か出来ないかと考えるようになりました。もともと家庭裁判所調査官として薬物依存や家族の問題に携わっていたこともあり、ネット依存の問題を解決するために活動したいという想いに至りました。そこで、久里浜医療センターでの研修やCRAFTなどの支援アプローチについて学び、立ち上げの準備をしていきました。事業がスタートしてからは毎日にカウンセリングの相談が増えていき、コロナ禍になると問い合わせが2倍以上になりました。講演や取材のご依頼も多く、関心が高まっていることを実感します。

現在は「ネット依存から予防・回復できる社会の実現」を目指して、予防と回復という二つの分野で支援を行なっています。予防分野では、講演、出張授業、記事・コンテンツの監修を行い、回復分野では依存に悩む本人と家族を対象にカウンセリングを実施しています。

### ◇養成教との関わりと今後の抱負

養成協への参加は、子どものネットリスク教育研究会に専門研究員として関わらせていただくようになったことがきっかけです。事業の運営を行う中で、ネットリスク問題に携わる専門家の方々と連携することや学術的な活動をするものの必要性を感じたからです。

今後は、インストラクターとして、特にネット依存の予防啓発に努め、全国の保護者、教育関係者、子どもたちにネットやデジタルデバイスと健康的に付き合う方法を普及していきます。また、論文や学会での発表など学術的な活動にも力を入れ、これまでの成果をエビデンスに基づく理論として世の中に発表することで貢献の幅を広げていきます。こうした様々な活動を通して、デジタルデバイスを使うことに安心を付与しながら、子どもたちが心身ともに豊かに成長していくことをサポートしたいと考えています。

## 「『健康被害について知りたい』という要望に応えて」

甲斐美保さん(NPO 法人 ネットポリス鹿児島)  
はじめまして。NPO 法人ネットポリス鹿児島の甲斐美保と申します。

いつもは企業のホームページ作成の仕事をしておりますので、どちらかといえば、インターネットやアプリを使ってもらうように考えている側になります。

息子たちにネットやアプリについて教えていたこともあり、ネットポリス鹿児島では、ネットリテラシーについて講演をしてきました。関心の高まりと共に、講演の内容も変化し、健康被害など講演を望む声が増えてきました。その声にお応えできるよう、認定インストラクターになりたいと思いました。

これまで専門的な勉強をしてきたわけではないので、まだまだ知識が浅いところが多いと思いますが、皆様についていけるように頑張ります。よろしくお願いいたします。

ご意見・ご感想をお寄せいただくと幸いです。  
連絡先：養成協 HP よりメール(燈火編集長 矢野宛)

